

事例8

< 事例概要 >

①30歳代後半/ 経産婦/ 自然妊娠。

②妊娠 34 週に前期破水のため前医より搬送。

③子宮収縮抑制薬の持続点滴をしたが、陣痛発生し分娩方針。妊娠 35 週にクリステル胎児圧出法を実施し、経膈分娩で児娩出。児娩出から約 20 分後、頸管の挫滅創からの出血確認。縫合終了時の出血量は 800 mL以上。児娩出から約 1 時間半後、赤血球液・新鮮凍結血漿をオーダー。児娩出から約 2 時間後、意識消失。輸血の払い出しに時間を要し、児娩出から約 2 時間後に 赤血球液の投与を開始、出血量は計 4,000 mL以上。児娩出から約 4 時間後に死亡。

④産道裂傷（頸管裂傷）。

⑤解剖無、死亡時画像診断（Ai）有。